

れんけい

題字：松尾信彦書



香川県立中央病院

Kagawa prefectural central hospital

移転開院 10 周年を迎えて

当院は 2024 年 3 月、高松市朝日町に移転開院して 10 周年を迎えました。

3 月 2 日（土曜日）には、記念講演会を当院講堂で開催し、香川県知事、香川県医師会長様をはじめ多くのご来賓の方々にもご出席いただき、独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局次長の三村誠二先生に災害拠点病院とその役割・連携の必要性についてご講演をいただきました。

香川県立中央病院の果たすべき最大の使命は、香川県における高度急性期医療を担っていくことです。2022 年にドクターヘリの運用を開始し、重症患者の搬送を行っており、香川県内の救急医療の向上に貢献出来ていると自負しております。また、本年正月に発災した能登半島沖地震のような、広域における地震等の災害が起きた際の、災害拠点病院としての任も担って行く準備も整えております。

医療ニーズの質・量も変化し、労働力人口の減少もあり、これまで以上に効率的な医療連携が必要となってきます。より広域の多数の医療機関との連携を深め、医療機能の分担を推進し、患者紹介、逆紹介に力を入れていく必要があります。普段は「かかりつけ医」の先生方に診療等をお願いし、重大な疾病の際には当院を紹介していただき、病状に合わせた急性期医療を行い、病状が安定すればかかりつけの先生方のところへ逆紹介させていただくという、それぞれの特性を活かした機能分担を行い、シームレスな医療連携を行いたいと思っております。

また、地域の医療を支える医療職の方々のためにも、医療セミナーを数多く開催し、WEBでも参加できるように工夫し、より多くの医療機関の方との連携を図り、情報を共有し皆様と力を合わせて県民の皆さまの健康を支えていきたいと思っております。

地域の中で当院の果たすべき役割をしっかりと果たし、県民の皆さまにより一層信頼され、愛される病院となるように職員一同努力してまいりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和6年5月 香川県立中央病院 院長 高口 浩一



香川県立中央病院移転 10 周年記念講演会



病院見学会の様子

令和6年 能登半島地震での医療活動報告 ～日本DMATとして第5次派遣隊～

救命救急センター センター長 佐々木 和浩

まだ皆様の記憶に新しいと思いますが、今年元旦に発生した能登半島地震におきまして、日本DMATとして派遣され医療活動を行ってまいりましたので、報告させていただきます。

1月10日にDMAT事務局から香川県内のDMATに派遣要請があり、当院でも急いでメンバーの選定を行い、11日の16時に出発式を行いました。派遣メンバーは医師2名（佐々木、鹿谷）、看護師2名（六車、谷口）、業務調整員2名（吉田、松本）の計6名でした。能登へは、皆様方のご厚意で新しく更新させていただいた高規格救急車とワゴン車の2台で出発しました。

その日は福井市内に宿泊し、翌12日の10時にDMAT参集拠点である公立能登総合病院に到着しました。そこで言われた派遣先は、穴水町保健センター内に設置されている「穴水町保健医療福祉調整本部」でした。ほぼ初めて耳にする町名であり、かつ至るところで道路のひび割れがあったり、家屋がつぶれていたりと、道中でいろいろな思いと不安を感じながら移動したことを覚えています。

14時に調整本部に入り待機していると、同じ施設内に設置されている「穴水総合病院支援指揮所」に入るよう言われました。ここは文字通り、病院の困りごとをすべて聞き取り、それを解決する方法を考え、実行に移す部署です。発災から10日余り経過しており、私達が入った



出発式の様子

ときにはすでに別のDMATが指揮所を運営していましたが、翌日13日から指揮所所属のチームはすべて交代となりました。私達の主な職務は、指揮所本部としての活動と日勤・夜勤帯での救急車対応、転院患者さんの搬送でした。

指揮所本部には佐々木と吉田の2名が入り、高知赤十字病院のDMATと共に活動しました。当時は、町全体で上下水道が不通であり、既存の入院患者さんを減らしていく方針であったため、転院先までの搬送手段や時間などを具体的に調整しました。また、救急外来と連携し、救急搬送された患者さんをリスト化し、入院が必要な患者さんには



公立穴水総合病院支援指揮所

は転院先の調整と搬送手段などの調整を行いました。毎日3～4名の転院が必要であり、搬送先は、金沢市内の病院でした。搬送手段は、ドクターヘリや自衛隊ヘリもありますが、主には指揮所所属のDMATが所有する救急車でした。先にも触れさせていただいた、当院の新型救急車も大活躍しました。最新の機器と共に、当院DMATの医師・看護師が同行しますので、安心して患者搬送のミッションを遂行することができました。



被災した公立穴水総合病院

救急外来と患者搬送班には他の4名(鹿谷、六車、谷口、松本)に到着したその日から深夜帯(24時~)の外来勤務を担当してもらいました。「深夜帯はほとんど救急車は来ないです」という申し送りがあったのですが、その日は立て続けに搬送があり、一睡もできずに朝まで患者対応をしてもらいました。慣れない電子カルテやシステムに多少手こずったようですが、無事診療を終えて、日中は待機場所で仮眠をとってもらいました。仮眠と言ってもベッドがあるわけではなく、持参した寝袋での雑魚寝です。



食事は、持参したものを食べていましたが、昼は台湾のボランティアの方々が2回ほど炊き出しに来て、温かいご飯を食べさせていただき、大変ありがたかったです。また自衛隊の方に病院駐車場に銭湯を設営していただき、滞在中1~2回ではありますが、温かいお湯に浸かることもできました。こうして多くの人に支えられながら活動が続け、15日の午後には無事撤収となり、穴水町をあとにして高松に戻ってまいりました。

救急外来での診療風景



現在もまだ復興のさなかではありますが、災害急性期に少しでも医療支援ができたことはよかったと思います。いつどこでこのような自然災害が起こることも限らない昨今の状況の中で、我々ができることを常日頃から考え、準備しておくことが大切だと痛感しました。最後になりますが、我々DMATを快く送り出してくださいました高口院長をはじめ、病院の各部署の方々に深謝いたします。

夜勤明けの仮眠



任務を終えて



当院救急車での患者搬送

退職者の挨拶

当院に赴任し、34年となり、思いがけず定年まで在職することができました。

広島からの赴任で、誰一人知人がいない高松でここまでやってこられたのは、ひとえに、病院の様々なスタッフの方々から優しくご指導いただいたことによると、心より感謝申し上げます。いろいろなことがありましたが、やはり新病院移転が大変だったことを思い出します。今年で移転して10年になりますが、成功だったことが示され、本当によかったなと思います。今後、小生が患者で救急車に乗った時には、中央病院をお願いしますと言いますので、その節は何卒よろしくお願い申し上げます。香川県立中央病院の皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



歯科・歯科口腔外科
前診療科長
古木 良彦

本年3月末をもちまして退職することになりました。昭和61年に旧中央病院に就職し、津田病院、がん検診センター、白鳥病院、そして中央病院と勤務して参りました。その昔共に働いた方達に、再び助けいただきながらこの日を迎えることができました。

薬剤師の業務は調剤中心から、病棟での対人業務へと転換しています。病棟で少しでも患者さんの安全な薬物治療に貢献できたのではないかと感じるのがモチベーションとなり、これまで続けることができました。多くの仲間を支えられ、新しい事にも取り組めたこと、本当に感謝しています。ありがとうございました。

県立中央病院が県民の皆様を愛され、益々発展することを心よりお祈りしております。



前薬剤部長
安部 浩美

視覚障がい者来院時の対応に関する研修を実施しました

業務課 涌嶋 沙和

2月8日（木）に、香川県視覚障害者福祉センターのご協力のもと、盲導犬ユーザー、白杖使用者の方にお越しいただき、「視覚障がい者来院時の対応に関する研修」を実施しました。

研修では、視覚障がい者の方が安全に、安心して院内を移動いただく方法や検査時の説明方法についてお話しいただき、移動の介助や椅子への誘導方法も実践しました。

職員の質問に対して回答いただく形式で進めていくなかで、「何かお手伝いできることはありませんか、と声をかけていただけるのは嬉しいこと。」「すたすたと歩いているように見えても、障害物に気づいていないこともある。情報提供をしてもらえるとありがたい。」「病院では検査結果等を同行のヘルパーや家族に向かって説明されることがある。患者は本人であるということを踏まえて話をしてほしい。」など職員として心掛けるべき点についてのご発言がありました。

今回の研修を参考に、視覚障がい者の方にも安心してご来院いただけるよう、職員一同で取り組んでまいります。



認定・専門看護師コラム

その8

「妊孕性温存（にんようせいおんぞん）という言葉をご存じですか？」

不妊症看護認定看護師 川上 聡子

「妊孕性」というのは、妊娠するために必要な能力のことで、生命を誕生させる力のことです。病気によって、手術や放射線治療、抗がん剤治療をすることで、妊娠するために必要な能力がダメージを受ける場合があります。今は、ダメージを受ける前にいのちの元となる、精子や卵子、受精卵、精巣の一部、卵巣の一部を治療が終わるまで保存して置いておく方法があります。

治療が終わった後、体外受精や顕微受精などをおこなって、保存して置いた自分のいのちの元でお子さんを育てることができます。

未婚の方でも、結婚までこの方法で保存しておくことができます。

病気の治療終了後、お子さんを授かりたいタイミングをみて、保存をおこなった病院で体外受精や顕微受精などの生殖補助医療をおこなっていくようになります。

妊孕性温存のための保存に男女ともに費用はかかりますが、香川県では妊孕性温存のための補助金が出るようになっています。

当院では、各診療科の先生を通じて紹介された方へ、温存の方法や妊娠のための治療について相談・カウンセリングをしています。



新連載

その1 リハビリテーションのおハナシ 言語聴覚士とは ー当院の言語聴覚士の役割についてー

リハビリテーション部 多田 優子

ことばによるコミュニケーションには言語、聴覚、発声・発音、認知などの各機能が関係していますが、病気や交通事故、発達上の問題などでこのような機能が損なわれることがあります。言語聴覚士はことばによるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。

※一般社団法人 日本言語聴覚士協会HPより引用

当院には言語聴覚士が4名在籍しており、言語や嚥下の問題に対し評価や訓練を行っています。特に嚥下の問題に対応する事が多く、言語聴覚士が介入する患者さんのうち、約9割が該当します。

嚥下障害は食物の咀嚼や飲み込みが上手くできなくなった状態であり、誤嚥や窒息を起こすこともあります。脳卒中や神経筋疾患、口腔や頸部の癌などの疾患によって生じますが、高齢者では骨折、手術等をきっかけに嚥下機能の低下をきたすことがあります。

呼吸や循環の状態が安定している患者さんについては、疾病の発症や手術後早期に嚥下評価や訓練を開始し、嚥下機能の回復を図るとともに、誤嚥を防ぎ安全に経口摂取できるよう介入を行っています。



言語訓練の様子



嚥下訓練に使用する道具

薬剤部だより

その5

免疫チェックポイント阻害薬の副作用確認シートを作成しました



薬剤部
中山 順子

～ICI（免疫チェックポイント阻害薬）副作用確認シート～

報告日： 月 日

薬名： _____

TEL/FAX： _____

報告薬剤師名： _____

速やかに 病院へ連絡を！

副作用の早期発見が重要です。こちらの症状以外で疑いのある症状が認められたら、速やかにご連絡ください。

次回受診時に 相談を！

グレード	1	2	3	治療グレード
呼吸器病	軽度の中重度を要する時に、原則的にある。	中〜重度の呼吸器病に、原則的にあるが、日常生活はできる。	重症のため、原則的にある。	
皮膚病	軽度で、原則的にある。	軽度〜中等度で、原則的にある。	重症で、原則的にある。	
腸胃障害	軽度で、原則的にある。	軽度〜中等度で、原則的にある。	重症で、原則的にある。	
肝臓病	軽度で、原則的にある。	軽度〜中等度で、原則的にある。	重症で、原則的にある。	
腎臓病	軽度で、原則的にある。	軽度〜中等度で、原則的にある。	重症で、原則的にある。	
神経障害	軽度で、原則的にある。	軽度〜中等度で、原則的にある。	重症で、原則的にある。	
眼障害	軽度で、原則的にある。	軽度〜中等度で、原則的にある。	重症で、原則的にある。	
心臓病	軽度で、原則的にある。	軽度〜中等度で、原則的にある。	重症で、原則的にある。	
内分泌障害	軽度で、原則的にある。	軽度〜中等度で、原則的にある。	重症で、原則的にある。	
免疫関連有害事象	軽度で、原則的にある。	軽度〜中等度で、原則的にある。	重症で、原則的にある。	

近年、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）で治療を続けるがん患者さんが増えてきています。ICIは、特有の有害事象である免疫関連有害事象（irAE）が投与初期から投与終了後しばらくの間は発現する可能性があるため、患者さんやご家族による体調チェックや地域医療機関全体でのフォローが重要になります。

そこでこの度、保険薬局においてもirAEのフォローが普及するように高松市薬剤師会と共同で「ICI（免疫チェックポイント阻害薬）副作用確認シート」を作成しました。

保険薬局の先生とミーティングを重ね、評価しやすく記入も簡便なシートを作成しました。このシートは病院への連絡の目安を確認したり、患者さんに体調チェック用としてお渡しいただくことも可能です。高松市薬剤師会あるいは当院ホームページよりダウンロードいただき、ぜひご利用ください。

保険薬局との連携プロジェクトは「TASUKIプロジェクト」として始動しました。「みんなで繋ぐがん治療」をテーマに、今後も連携の取り組みを継続していく予定です。

病院機能評価 3rdG:Ver.3.0 を受審して

院長補佐 整形外科診療科長 川崎 啓介

2024年
2月16日に卒後臨床研修
機能評価訪問審査を受審し
認定されました



2023年11月16日と17日に、日本医療機能評価機構の病院機能評価 3rdG:Ver.3.0を受審しました。そもそも病院機能評価とは、「国民が安全で安心な医療が受けられるように、病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価し、組織横断的な質改善活動を支援するツール」とされています。

受審の約1年前から準備に取り掛かり毎月1回の定例会議で進捗状況を確認しながら受審準備を進め、当日を迎えました。審査のひとつに、ケアプロセスという一つの症例について多職種に対しサーベイヤーが様々な質問を行う審査がありましたが、職員一丸となって努力した成果が見えて誇らしく感じました。

この度、めでたく認定をいただきました。ご協力いただきました職員の皆様に感謝申し上げます。

また、今後の継続的な医療の質改善のために、院外の皆様からのご意見もいただけますと幸いです。



※大変申し訳ありません。
『おつうじにまつわるうんちく その28』は紙面の都合で次号に掲載いたします。

「がん患者のための集い」 さぬきの絆 交流会・定例会再開のご案内

コロナ流行期の間、長らく中央病院での活動を休止しておりましたが、今般さぬきの絆の活動を再開させていただくこととなりました。詳細はホームページをご覧ください。

◆今後の予定◆

日時：令和6年6月9日（日）
10時～12時【交流会】
令和6年7月14日（日）
10時～12時【交流会】

場所：香川県立中央病院 1階講堂 対象者：受診施設に関係なく参加可能。
参加費：無料 家族のみの参加も可能。
申し込み：不要



医療セミナーのご案内

日時 ● 令和6年6月27日（木）
19:00～

講師 ● 呼吸器内科 部長
上田 裕

演題 ● 「どんどん適応が広がる肺がん免疫療法」

医療セミナーのページがご覧いただけます→



医師の人事異動 転入

R6年3月～4月

①出身大学 ②卒業年
③趣味 ④抱負

R6年3月1日付

R6年4月1日付▶▶▶



ふじもと えいき
藤本 鋭基
(心臓血管外科)

- ①高知大学 (高知医科大学)
- ②平成7年
- ③ドライブ、建築物めぐり
- ④低侵襲治療と外科的治療を組み合わせ、患者様にやさしく確かな医療を提供できるよう心がけたいと思います。



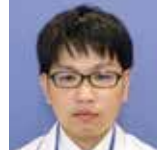
こじま かずき
小島 一輝
(呼吸器内科)

- ①香川大学
- ②令和3年
- ③旅行
- ④患者さんに寄り添う医療を提供できるよう心がけます。よろしくお願いします。



ささき えりか
佐々木 恵里佳
(内分泌内科)

- ①香川大学
- ②平成26年
- ③なし
- ④精一杯努めさせていただきます。よろしくお願い致します。



もりた たかふみ
森田 峻史
(腎臓・膠原病内科)

- ①自治医科大学
- ②平成29年
- ③バドミントン
- ④できるだけ多くの患者様の力になれるよう、精一杯頑張ります。



はせがわ じゅん
長谷川 潤
(循環器内科)

- ①東京慈恵会医科大学
- ②平成20年
- ③ドライブ、音楽鑑賞
- ④この度、地元香川に戻ってまいりました。地域医療に貢献できるよう精進致しますので、宜しくお願い致します。



さわだ ひかり
澤田 ひかり
(内科)

- ①島根大学
- ②令和2年
- ③旅行
- ④香川の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。



いしはま さわこ
石濱 佐和子
(内科)

- ①香川大学
- ②令和2年
- ③テニス
- ④少しでも地域の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いします。



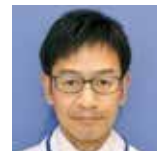
よこやま たくみ
横山 拓海
(消化器・一般外科)

- ①香川大学
- ②令和4年
- ③ゴルフ、バドミントン
- ④患者さん一人一人に対して、一生懸命診療に当たらせていただきます。



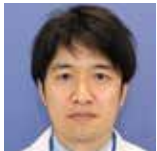
やまうち ゆたか
山内 豊
(脳神経外科)

- ①香川大学
- ②令和3年
- ③スキー
- ④初期研修医以来とは異なりますが、再びお世話になります。精進していきたいと思っております。



たかはし もとき
高橋 基城
(整形外科)

- ①自治医科大学
- ②平成18年
- ③釣り、スノーボード、ランニング
- ④ひとつひとつの仕事大切に、丁寧な診療を心がけたいと思っております。よろしくお願いします。



ふくおか しろう
福岡 史朗
(整形外科)

- ①自治医科大学
- ②平成24年
- ③スポーツ観戦
- ④初期研修以来の10年ぶりに勤務させて頂きます。よろしくお願い致します。



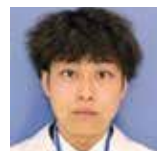
ありおか まこと
有岡 誠
(小児科)

- ①香川大学
- ②平成25年
- ③写真
- ④卒後11年目で、多くを新生児医療に従事していました。よろしくお願い致します。



みやもと きわこ
宮本 貴和子
(小児科)

- ①香川大学
- ②令和2年
- ③旅行
- ④地域医療に貢献できるよう日々精進してまいります。よろしくお願い致します。



くさ こうだい
久佐 耕大
(泌尿器科)

- ①岡山大学
- ②令和4年
- ③ゴルフ、将棋
- ④精一杯頑張ります。



ごうだ あきと
合田 亮人
(産婦人科)

- ①香川大学
- ②令和2年
- ③ドライブ、サイクリング
- ④まだまだ経験は浅いですが、少しでも役に立てよう努力していきます。



うえだ しゅんじ
上枝 舜治
(眼科)

- ①岡山大学
- ②平成31年
- ③旅行
- ④初期研修では大変お世話になりました。本年度も宜しくお願いいたします。



すぎもと けいすけ
杉本 啓介
(リハビリテーション科)

- ①筑波大学
- ②令和3年
- ③筋トレ
- ④徳島県より参りました杉本啓介と申します。精一杯診療いたしますので、よろしくお願い致します。



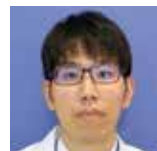
ゆとり ひろかず
柚島 宏和
(歯科・歯科口腔外科)

- ①岡山大学
- ②平成15年
- ③ドライブ
- ④香川県の口腔外科医療に役立てよう頑張ります。



いはら ひろき
井原 弘貴
(放射線科)

- ①岡山大学
- ②平成19年
- ③テニス
- ④放射線治療が専門です。丁寧な診療を心がけています。



やまだ まさのり
山田 実典
(放射線科)

- ①山形大学
- ②平成30年
- ③読書
- ④地域医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。

医師の人事異動 転出



R6年1月31日付

澤田 健二郎 (研修医)

R6年2月15日付

野田 裕介 (眼科)



R6年3月31日付

大川 純平 (消化器内科)
原 諒真 (消化器内科)
妹尾 知典 (肝臓内科)
大原 靖弘 (呼吸器内科)
浮田 健太郎 (呼吸器内科)
奈田 知明 (内科)
中城 健 (内科)

森 俊介 (呼吸器外科)
長谷川 翼 (整形外科)
山下 和貴 (整形外科)
長谷川 雄大 (形成外科)
神内 済 (小児科)
豊嶋 桃子 (小児科)
杉野 謙司 (泌尿器科)
片山 敬久 (放射線科)
丸山 拓夢 (放射線科)
池上 春香 (へき地)
小田 志門 (研修医)
佐藤 公紀 (研修医)

田岡 慶大 (研修医)
野口 遥地 (研修医)
三好 浩介 (研修医)
山口 望 (研修医)
石谷 望 (研修医)
石田 一輝 (研修医)
浮田 紗代 (研修医)
丸井 康平 (研修医)
伊藤 直輝 (研修医)

R6年4月30日付

長谷川 利聡 (歯科・歯科口腔外科)



広報誌「れんけい」
バックナンバーが
ご覧いただけます。

発行者 香川県立中央病院 高口 浩一
編集 広報委員会

〒760-8557 高松市朝日町一丁目2番1号
TEL (087)811-3333 FAX (087)802-1160